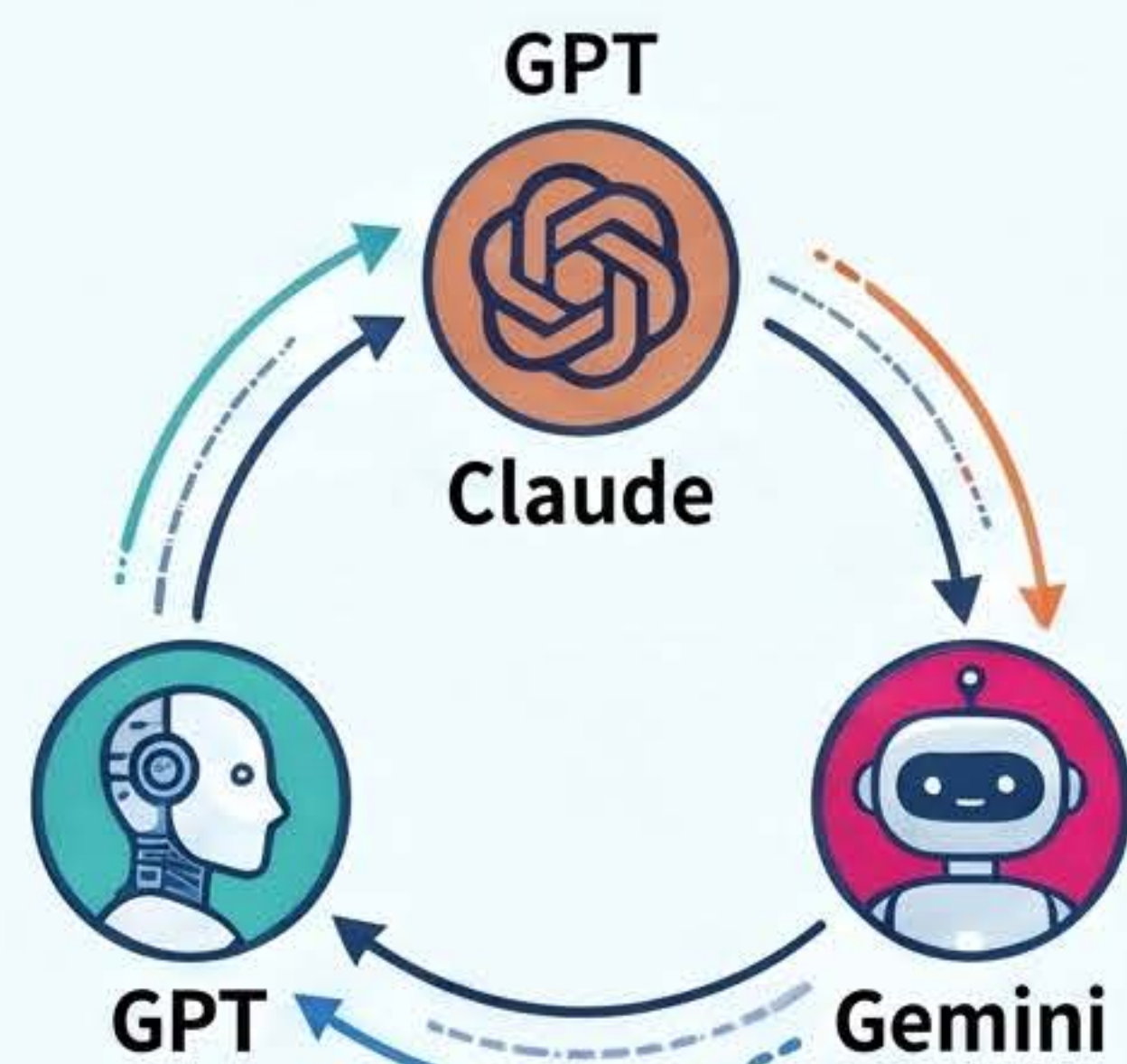


AIエージェント時代の知財DX：AI Samurai 2026が描く新戦略

革新的な知財創出機能「マルチAI合議」と「MCP連携」



「三人寄れば文殊の知恵」
による合議システム
自律的に議論し、ハルシネーション
を抑制して多角的な知見を提供



実務を再現するペルソナ（役割）設定
AIに審査官や弁理士の役割を与え、出願前の
模擬審査や拒絶理由の先回り対策が可能

AI
Samurai
2026

世界標準「MCP」による
データベース直結

AIエージェントが自律的に特許DBへ
アクセスし、検索から集計までを
日本語の指示のみで完結

圧倒的パフォーマンスと戦略的特許網の構築

知財分析の体感スピードが「50倍」へ



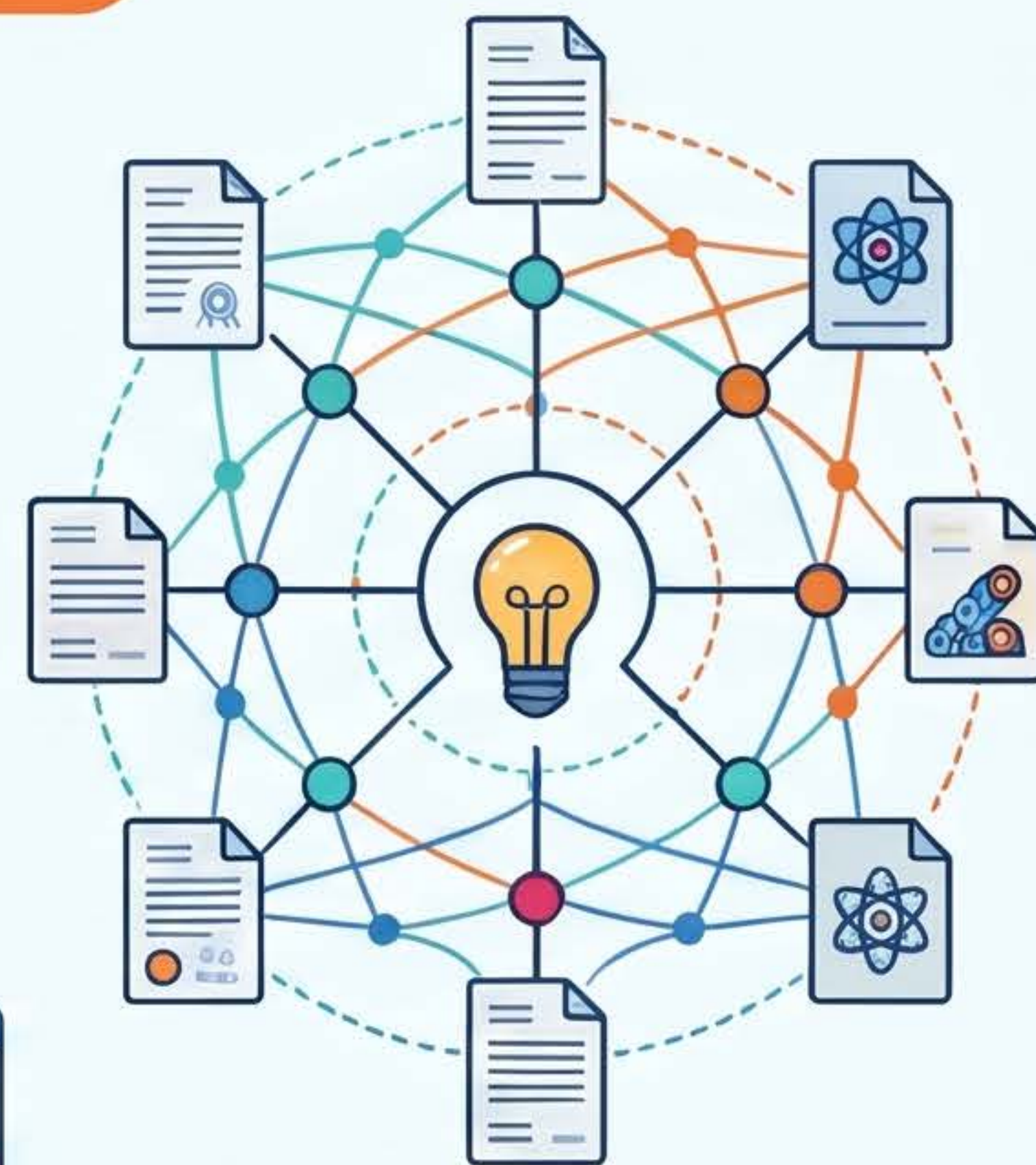
従来：約8時間
(IPランドスケープ分析)



AIエージェント：
約30分



体感**50倍**



「特許網（パテントポート
フォリオ）自動生成」
単一の権利化（点）ではなく、周辺・
代替技術を網羅した「面」の権利化
をAIが自動設計

10の主要知財業務をエージェント化

調査、発明発掘、明細書作成から戦略立案まで、一連のプロセスをAIが包括的にサポート